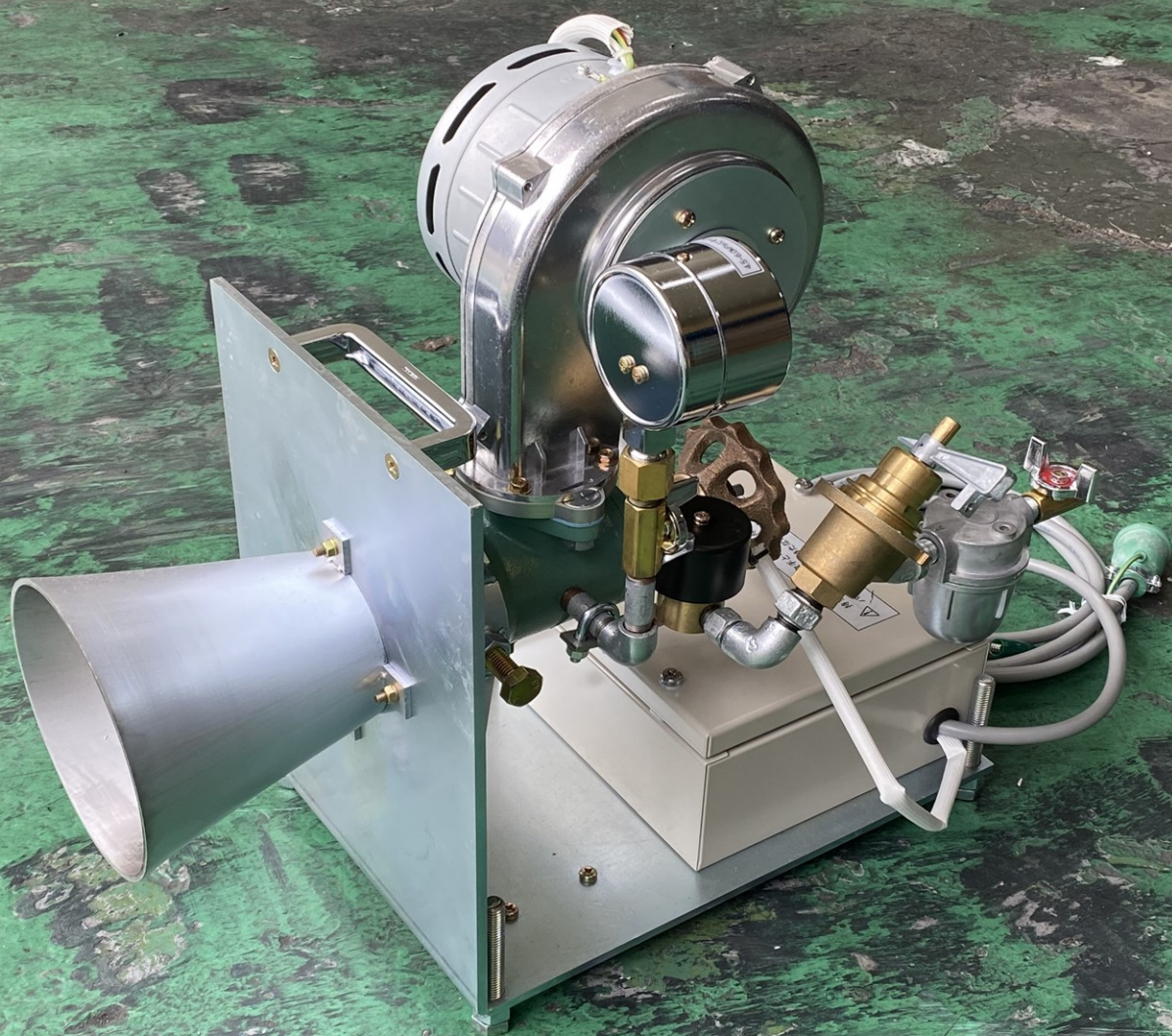


# プロミネンスバーナー V2

～半自動着火式～



株式会社 尾崎亀商店



# プロミネンスバーナー V2 ～半自動着火式

プロミネンスバーナーV2はアスファルト溶解釜用に設計・開発されたオイルバーナーです。バーナーコントローラーの搭載により、安全確実な運転を致します。また、油量調整バルブ・噴霧空気量調整ハンドルにより、必要な火力調整を簡単に行うことができます。他にも、バーナー本体に持ち運び用の取っ手が付いており、設置・据付・移動が簡易となっております。

|   |   |                  |         |             |
|---|---|------------------|---------|-------------|
| 型 | 式 | LP-3N+改式(LP-5)相当 |         |             |
| 電 | 圧 | AC100V / AC200V  |         |             |
| 燃 | 焼 | 量                | 5～30ℓ/h |             |
| 制 | 御 | 方                | 法       | 手動着火 / 手動制御 |
| 燃 | 料 | 灯油 / 軽油 / A重油    |         |             |

## 特長

### 特長1

灯油・軽油は勿論、A重油・廃油も使用可能

### 特長2

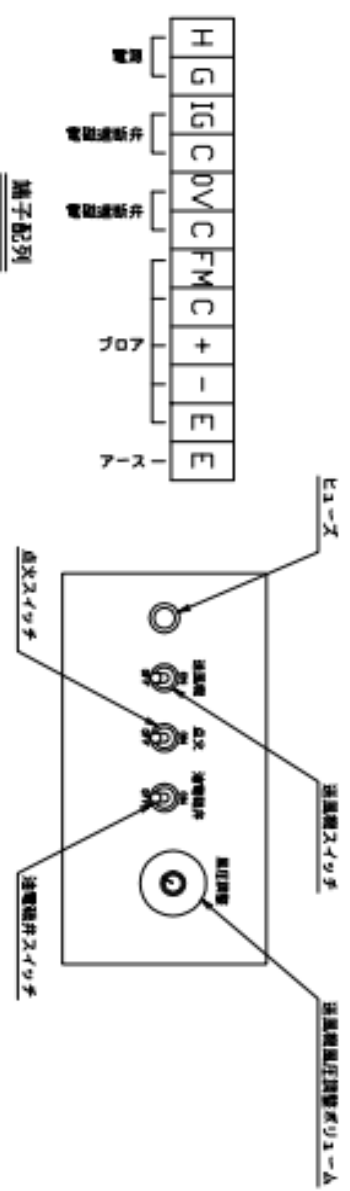
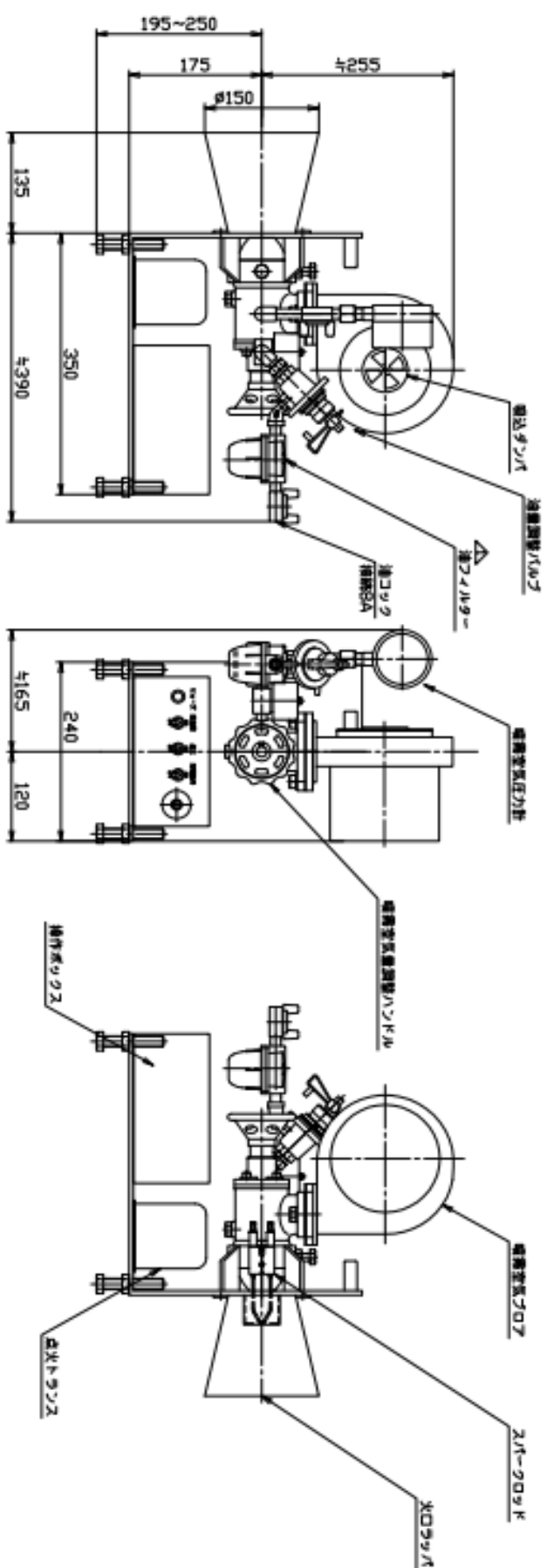
空気力・油力・空気圧力の3つの調整

### 特長3

満足の大火力 W/5ℓ～30ℓ(約25万キロカロリー)

### 特長4

焚吹き出し口から先端まで、長くて真っすぐな棒状の炎の為、奥行きのある釜の奥側もらくらく加熱



型式番号 : K0-V2 半自動 (電気着火式)  
 燃 焼 量 : 5~30L/H  
 噴霧空気圧 : 4.5~6kPa  
 噴霧空気量 : 1.0m<sup>3</sup>/min  
 供給油圧 : 自然落下圧2~3m(0.02~0.03MPa)  
 燃 料 : 灯油、A重油、軽油  
 ※再生油、廃油の場合は別途相談。  
 着火/制御 : 電気着火/手動調整  
 供給電圧 : AC100V or AC200V (共用不可)  
 消費電力 : 最大1500W

|   |                    |    |    |        |     |   |                   |
|---|--------------------|----|----|--------|-----|---|-------------------|
| ※ | 油ツイルローを追加。2021.7.9 | 承認 | 検印 | 製図     | 尺数  | 名 | 型式 K0-V2 半自動電気着火式 |
| △ |                    |    |    |        | 1:6 | 特 | プロミテンスハイターホバーナー   |
| △ |                    |    |    | 太田     | 作成  | 図 | 外形寸法図・部品構成図       |
| △ |                    |    |    | 21.4.6 | 書   |   | MD121685A         |

K.O 株式会社尾崎電商店

## ～プロミネンスバーナーの構造～



送風機スイッチ



点火スイッチ



油電磁弁スイッチ



風圧調整ボリューム



油量調整バルブ



噴霧空気量調整ハンドル



油コック



圧力計



フィルター

---

### 《別売備品》



オイルタンク台



オイルタンク



ホース1.5m

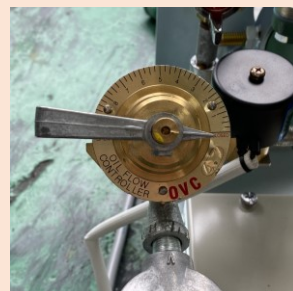
# ～ 操作方法 ～

## ①運転前の確認及び接続

油コックを閉める



油量調整バルブを  
0にする(close)



送風機をOFF



点火スイッチをOFF



油電磁弁をOFF



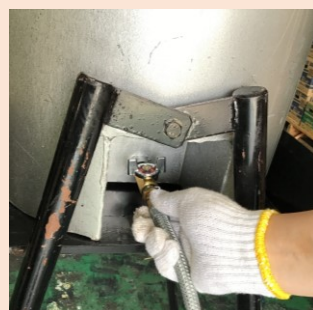
噴霧空気量調整  
ハンドルを0



オイルタンクのコック  
が閉まっていることを  
確認する



油ホースをオイル  
タンクに接続する



油ホースをバーナー  
に接続する



油ホースがオイル  
タンクにしっかり接  
続されているか、  
要確認する



油ホースがバー  
ナーにしっかり接続  
されているか、  
要確認する



オイルタンクに  
油を入れる



※各バルブやスイッチが入った  
ままコンセントを入れると、同時  
に油が出るので注意

## ②運転準備

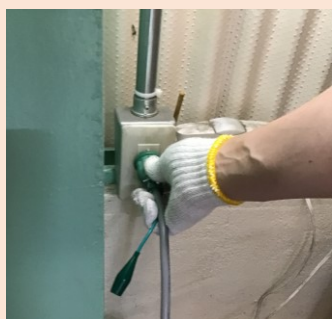
オイルタンクに繋  
いでいる油コック  
を開く



バーナーに繋いで  
いる油コックを開く



コンセントを挿す



### ③着火作業開始

送風機をON



風圧調整のボリュームを調整して圧力計を確認しながら4.0～6.0kPaに合わせる



※圧力が安定するまで15秒ほどかかります。

噴霧空気量調整  
ハンドルを4～5に  
合わせる



油電磁弁をON

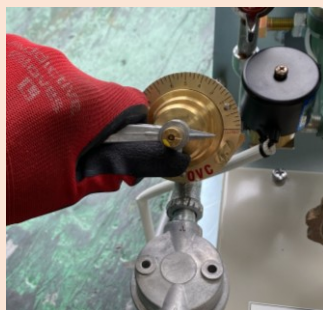


点火スイッチを  
ON



※着火を炎が安定したら、点火スイッチはOFFにして下さい。  
ONのまま作業を続けると故障の原因となる場合がございます。

油量調整バルブ  
を少しずつ開け  
ていく(open)



※初回は油のホースに空気が入っており、着火しにくっております。  
※着火に失敗した際は一度、油電磁弁をOFF、油量調整バルブをcloseに戻して噴霧空気量調整から再度進めて下さい。

着火に成功してから油量調整バルブと噴霧空気量調整ハンドルを少しずつ調整して、必要な火力にして下さい。  
※この時、点火スイッチがOFFであることを確認



※油量調整バルブを開けすぎると火炎がリフトな大きな火炎になり黒い煙が出ます。

※噴霧空気量調整ハンドルを開けすぎると火炎がシャープになりすぎ、火炎が吹き飛び易く、また火炎が消え易くなります。

※大気開放で調整しても、炉にセットすると炉内の圧力や煙突の排気効果により火炎の状態が変化します。炉のセットした後に必ず火炎が安定していることを確認してください。

※炉にセットして火炎が脈動している場合は、火炎の出力が大きすぎる可能性があります。無理に使用すると炉内が焼損、バーナーの失火、火炎の逆火が発生します。小さい出力から少しずつ大きくなるように調整してください。

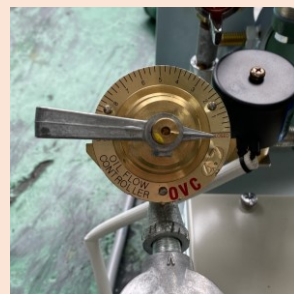
※黒い煙は空気量不足です。油量を少なくするか、噴霧空気量調整ハンドルで少し噴霧空気を多くして下さい。

## ④消化手順

油電磁弁をOFF



油量調整バルブを  
0にする(close)



油コックを閉める



しばらく送風機を回  
して冷却させてから  
送風機をOFF



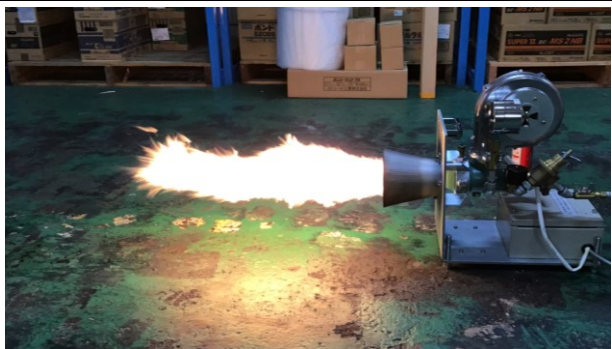
※火を消した直後はバーナーも  
熱くなっております。本体を触る  
際は火傷にご注意下さい。

# ～ 火力調整 ～

## 1.着火時の火力 … 小

| 着火時、最適火力                                                                          | 噴霧空気量   | 油量  |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------|-----|
|  | 4.0～5.0 | 1～4 |

## 2.加熱後・作業中の火力 …中

| 着火後、防水工事作業時に最適火力                                                                    | 噴霧空気量 | 油量  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------|-----|
|  | 6     | 6～7 |

## 3.着火後・加熱時の火力 …大

| 最大火力                                                                                | 噴霧空気量   | 油量       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|
|  | 8.5～9.0 | open(全開) |

# プロミネンスバーナーの主な使われ方

## 農業に

温室・ビニールハウス加温・農産物化工・農産物乾燥・鶏フン乾燥  
製茶・はっか蒸溜・酪農家畜舎暖房・殺菌消毒・飼料煮沸・焼却  
キノコ栽培・乾燥・畑の殺菌・田畑の土壌改良

## 水産・漁業

水産物加工・のり・いか・こんぶ乾燥・水産物煮沸・魚類くんせい  
養魚・養鰻・ワカメの湯通し・シラスの煮沸

## 製菓・醸造

製菓材加温・煮沸・むし・乾燥・食料品加工・揚げ物・醸造蒸溜・ガラス瓶洗浄

## 鉱・工業に

各種金属溶解・加温・加熱・焼鈍・乾燥・メッキ・アスファルト・ピッチ溶解  
焼却炉・工場暖房

## 窯業に

やき物・乾燥

## 一般商業に

クリーニング・染色・木材乾燥・焼却炉・公衆浴場旅館・民宿・病院・温水  
蒸気ボイラ・温泉加熱

## その他

給湯ボイラ・温水暖房

# 安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの「安全に正しくお使いいただくために」と、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管しておいてください。

## ~~~~~ 使用上の制限について ~~~~~

本製品をとくに安全性が必要とされる用途、または重要な設備に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム機器全体の安全に配慮していただいたうえでご使用ください。

### ！ 警 告 ！

- 本製品への結線や取り付け、取り外しは必ず電源の供給元を切った状態で行ってください。誤って端子などの充電部に触れると感電のおそれがあります。
  - 本製品の安全スイッチ動作、またはロックアウト動作の場合は、その原因を取り除いたあと、使用してください。また、続けて何度もリセットを繰り返さないでください。取り扱いを誤ると、燃焼装置の重大事故発生につながるおそれがあります。
  - 本製品は燃焼装置の運転方式(バッチ運転・連続運転)※に合わせて正しい選定、組合せをしてください。
- 選定や組合せを誤ると、燃焼装置の重大事故発生につながるおそれがあります。  
※バッチ運転とは24時間以内に1回以上発停する装置、連続運転とは24時間以上連続して燃焼が継続する装置です。

### ！ 注 意 ！

- 本製品は、燃焼装置を安全に運転するためにきわめて重要な機能をもっています。本製品を正しく使用するために、取扱説明書、および取合せ機器の取扱説明書、燃焼装置などの取扱説明書に従ってください。また燃焼安全制御システムを計画されるときは、弊社販売担当者と充分なお打合せください。
- 本製品の取り付け、結線、点検、調整、保守などは燃焼装置、および本製品に関する知識と技術を修得した経験のある専門の方が行ってください。
- 本製品は、本製品の取扱説明書の明示されている定格仕様の範囲内で正しく使用してください。故障や誤作動のおそれがあります。
- 本製品の取り付け場所は次の雰囲気을避けてください。故障の原因になります。  
「特殊薬品や腐食性ガスの雰囲気」「高温にさらされる場所」  
「水滴や湿気のある場所」「振動が長時間続く場所」
- 本製品への結線は定められた基準に従い、取扱説明書で指定された電線、および施工方法で正しく配線してください。故障や誤作動のおそれがあります。
- 保守点検は、方法、取り扱い、交換周期などの本製品の取扱説明書に従い、的確に対応してください。故障の原因になります。
- 本製品は分解しないでください。故障や感電のおそれがあります。
- メンテナンスに関しては、別途取り決めと致します。